

(広報資料)

大学同時

平成24年7月5日  
総合企画局  
(担当 市民協働政策推進室 222-3103)  
(公財)大学コンソーシアム京都  
(TEL353-9163)

## 平成24年度「学まちコラボ事業」の認定について

～大学と地域が連携して行う防災や地域コミュニティの活性化を目指す取組を認定！～

京都市では、公益財団法人大学コンソーシアム京都と協働で、平成16年度から「学まちコラボ事業（大学地域連携モデル創造支援事業）」を実施しています。

この「学まちコラボ事業」は、大学と地域が一体となり、『コラボ』する企画・事業で、まちづくりや地域の活性化に資するものを広く募集し、認定を行っています。

この度、今年度応募があった13事業のうち、**7事業を支援対象として、2事業を奨励賞授与対象として認定**し、認定式を執り行いますので、お知らせします。

### 記

#### 1 認定式について

(1) 日時 平成24年7月11日（水）午後3時から午後4時まで

(2) 場所 市役所 3階 第一応接室

#### (3) 出席者

(認定事業の申請者)

学生、大学関係者等（20名程度）

(選考委員会及び京都市側)

西垣 泰幸 龍谷大学経済学部教授（選考委員会委員長）

門川 大作 京都市長

岡田 憲和 京都市総合企画局長

和田 千恵 京都市南区長

#### (4) 次第

○開会

○出席者の紹介

○認定事業の紹介

○講評（西垣委員長）

○認定証の授与

○市長挨拶

○意見交換

○閉会

※閉会后、記念写真の撮影を行います。

## 2 認定事業

NO	事業名（助成金額）	申請者名【関連大学名】	行政区	事業概要
1	京都白川、水上空間の交流づくりワークショップ (297,000円)	京都大学大学院 人間・環境学研究所 環境構成論研究室 【京都大学】	東山区	白川が流れる京都市東山区粟田地区は、近年高齢化を理由に地域の文化活動の担い手不足が課題となっている。この解決の為、京都大学大学院人間・環境学研究所環境構成論研究室が事務局となり、「白川の水上空間の活用」をテーマとしたワークショップ型のコンペティションを開催する。事業は住民承認の下、専門家やNPOと連携して行う。事業を通して、地域の賑わいに資する学生と住民の繋がりがつくり、白川の魅力の再発見を目指す。
2	嵐山・七夕文化のまちづくり2012 (300,000円)	嵐山・七夕文化のまちづくり2012 【京都嵯峨芸術大学】	右京区	少なくなりつつある七夕の伝統行事を地域が一体となって継承、発展することを目的に、芸術大学のデザインの参加により、魅力ある街並み景観づくりや企画を通して、幼児教育とも連動し、商業者が中心となって大学生や観光客も参加できる七夕事業を創造する。七夕を嵐山ならではの魅力と一体で情報発信し、持続的に発展する観光地の形成に寄与する事業としたい。
3	京都三条節分おぼけ2013 (300,000円)	精華おぼけ会 【京都精華大学】	中京区	「節分おぼけ」は節分限定で非日常的な衣装を身につける、京の伝統コスプレである。高度成長期を境に衰退し、現在は花街の芸舞妓の行事として残っている。精華おぼけ会は3年前に「節分おぼけ」の復活をめざして結成され、三条地域の老人会・女性会の協力を得て伝承調査、「カフェ」、「パレード」等を実施してきた。昨年度は地元企業と震災義捐金付きの「春風らすく」を開発、今年度は京都千年の「おぼけ文化」を深掘りする。
4	パープルフレンズによる「まちうたフェスティバル」開催に向けた支援事業 (300,000円)	むらさきっず（佛教大学） 【佛教大学】	北区	むらさきっずは、紫野学区における一人暮らし高齢者の組織化支援等の地域活性化に繋がる活動を行っており、今年度の活動では一人暮らし高齢者（パープルフレンズ）による「まちうたフェスティバル」を計画している。 本事業では、関西圏の地元の歌を作っている団体の紫野区集い、歌作りを通して繋がること、社会的弱者とされる高齢者が企画・運営を行うことで役割を持ち仲間と楽しみを見つけ、生きる力を培うことを目的としている。
5	深草SOSUI（疏水）物語 (300,000円)	みらいの環境を支える龍谷プロジェクト 【龍谷大学】	伏見区	住民と学生が一緒に、文化的景観を意識しながら、鴨川運河を中心とした周辺地域の近現代における生活空間について、当時を「知る」「表す」「共有する」という3つの視点から再編する。具体的には、ヒアリングや写真等の資料収集、鳥瞰図のマップ作成、地域と大学とが連携したオープンストリートミュージアムを開く。ここでは、「SOSUI（疏水）」という縦のラインを活かし、学区間を超えた地域間の繋がりを構築する。
6	人をつなげる縁側プロジェクト (300,000円)	人をつなげる縁側プロジェクト実行委員会 【龍谷大学・立命館大学】	下京区	高齢化、核家族化、マンションの増加などにより、人々のつながりが減り、地域居住などに不安が残る。これを改善するために、下京区内を中心に、誰でも集えるスペース「まちの縁側」を調査・意見交換を行い、マップ作成、「まちの縁側」イベントを行う。そうすることで地元の人々に「まちの縁側」について認知してもらい、参加してもらうことで地域のつながりの活性化を目的とする。
7	三十六歌山まちなか博物館構想 (300,000円)	龍谷大学門前町サークル 【龍谷大学】	下京区	本事業の目的は、西本願寺門前町を「三十六歌山のまち」と位置づけ、多くの人たちに西本願寺とその門前町に親近感をもってもらう、地域人口と来訪者の増加によって、西本願寺門前町に「こぎわ」を取り戻すことである。 地域住民と事業者が門前町の魅力を再認識してもらう活動と、西本願寺と門前町の魅力を広く世間にPRする活動の2種類の事業を実施する。 2年計画で実施し、初年度は基礎資料作りをメインにして活動する。
<b>奨励賞（採択審査においては次点となったが、学生と地域の連携深化を期待できる事業とし、その取組を奨励するもの）</b>				
1	ことおこしをデザインするプロジェクト (100,000円)	京都造形芸術大学 近代産業遺産アート再生プロジェクト「まか通VI」 【京都造形芸術大学】	東山区	現在まで蓄積された（7年間）ノウハウを重要視しながら、再度あらゆる事象（記憶・伝説・伝承・風景・歴史・祭事等）を掘り起こし見直す。 これら見直したものを現在の生活に活かす為の提案（デザイン）をし、必ず実行、継続する事でもあり、行動を伴ったデザイン、つまり“ことおこしをデザインする”を展開していく。
2	よう北野まつりアルバム出版事業 (100,000円)	特定非営利活動法人 よう北野まつり 【佛教大学】	上京区	よう北野まつりの設立から5年目となる節目の年を迎えるにあたり、今後さらに北野西陣地域に密着した「お祭り」を実現するために、これまでの事業活動を振り返り「お祭りが地域に波及させた効果」「地域で活躍する人材の育成」「地域と大学間の連携」について、考え、広く地域社会に発信することを目的にアルバム出版事業を推進する。

※【 】…申請団体や申請団体と連携している団体の学生の所属大学名